

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレスボ長岡京		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日		～ 2025年 3月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 17日		～ 2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか】の問いについて、95.5%の方がはいと答えていただいている	チャットツールを使い、利用日の翌日午後支援記録を配信する。活動内容の他、気になったことなど添えて送信することもある。それについて保護者様からお悩みなどの相談があり、アドバイス等お返ししたり、支援の方向をトレスボ内で考える材料とさせていただいたりすることもある。	次年度システムを入れ替えるが、今年度と変わらないような連絡体制が取れればと考えている。
2	【こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか】の問いについて100%の支持をいただいている。	お子様の特性をよく観察し理解した上で、応用行動分析を基礎とした考え方で支援の方向性を決めている	策定をしているスタッフが固定化されている。もっと幅広く策定にあたる職員を増やす。
3	【事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか】の問いに100%のはいの回答をいただいている。	契約時の説明を都度わかりやすく行うように心がけ、疑問点があればその場で解決していくようにしている。	契約をしているスタッフが固定化されている。もっと幅広く契約にあたる職員を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	次年度、利用人数がほぼ定員に達したため新規を受け入れづらい曜日がある	多機能型なので児発と一体であるため定員数が限られてくる	将来的に地域ニーズに合わせて施設を増やしていくことも検討課題の一つとらえている
2	次年度、療育支援システムとして新しいアプリを導入する。まだ使い方など不明点があり試行錯誤しながらとなる。	旧システムから新システムへの移行の際に使用感の違いが大きく、効率的な使い方の模索をしている	マニュアルとヘルプを利用しながら進めていく
3	食育の回数を増やしたり、ICT機器の使い方や性教育、お金の使い方や将来の仕事についてなど、提供したい支援のアイデアがあるが実現できていない	実施のためにMTG等必要だが時間の捻出が難しい	業務の効率化を進め時間を作り、よりよい支援が提供できる様に工夫する